

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870102914
法人名	特定非営利活動法人 グループホームしいのみ
事業所名	グループホーム紫竹庵
所在地	松山市山越2丁目1番35号
自己評価作成日	平成21年9月7日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

民家改築型のグループホームなので、建物が周辺の環境に溶け込んでおり、周辺住民やご家族様が訪ねて来易い雰囲気である。利用者様や職員が外出から帰ってきて、談話室から「お帰りなさい」の声が聞こえ、とてもアットホーム的である。どの居室からも庭や畑が見え、静かで過ごし易い。職員はバタバタと業務をするのではなく、家でゆったりと時間が流れていくような施設でないケアを常に心がけている。

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

地区の運動会には、利用者もパン食い競争に出場され、利用者は「久しぶりに一生懸命に走った」と生き生きと感想を話された。地区の敬老会の招待状を町内会長よりいただき、職員は利用者とともに参加された。外出する際、ちょっと離れた事業所の駐車場まで歩くと近所の方にお会いすることもよくあり、以前、利用者が一人で出かけたような時に近所の方が知らせてくださったこともあった。町内会長から、町内の会議に事業所の談話室を貸してほしいとの申し出があり、受けておられる。

利用者の中には数十年來のかかりつけ医を受診されている方もあり、ご家族と職員が付き添っておられる。協力医療機関の医師は、毎日、利用者一人づつ往診に来てくれており、いつでも連絡が取れるようになっている。往診中、職員は、医師にご本人の様子を伝え、ご本人のそばで、メモを取っておられた。

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年10月8日

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる （参考項目：23,24,25）	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています （参考項目：9,10,19）
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある （参考項目：18,38）	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている （参考項目：2,20）
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている （参考項目：38）	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている （参考項目：4）
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている （参考項目：36,37）	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き生きと働いている （参考項目：11,12）
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている （参考項目：49）	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている （参考項目：30,31）	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている （参考項目：28）	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム紫竹庵

(ユニット名) _____

記入者(管理者)

氏名

川井 洋子

評価完了日

平成21年9月7日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 各利用者様のその人らしさを大切に、可能な限りご要望にお応え出来るよう努めている。2ヶ月に1度を目安に運営推進会議を設け、近隣の方を当ホームにおこし頂き、紫竹庵の運営姿勢をみていただく。 (外部評価) 「より楽しく暮らせるよう私達は努力します」と理念を作成して、行動指針とともに居間のドアに掲示されている。管理者は「地域の清掃行事やごみ置き場の掃除等から地域に溶け込み、地域の方達にも支えてもらえるような事業所になりたい」と考えておられ、又「利用者の喜怒哀楽を引き出し、笑顔が多く見られるような取り組みを目指していきたい」と話しておられた。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 利用者様と外出する機会があり、特に日常の中での散歩時には、ご挨拶を必ず行い地域の方と少しでも会話を持ち、利用者様と面識を持って頂く事によって、よりホームの理解を深めて頂けるよう努めている。季節ごとに開催されるイベントに積極的に参加し、利用者様との時間を持っていただく。 (外部評価) 地区の運動会には、利用者もパン食い競争に出場され、利用者は「久しぶりに一生懸命に走った」と生き生きと感想を話された。地区の敬老会の招待状を町内会長よりいただき、職員は利用者とともに参加された。外出する際、ちょっと離れた事業所の駐車場まで歩く間に近所の方にお会いすることもよくあり、以前、利用者がお一人で出かけたような時に近所の方が知らせてくださったこともあった。町内会長から、町内の会議に事業所の談話室を貸してほしいとの申し出があり、受けておられる。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 実習生・ボランティアの受け入れをし、今後の就職への選択権の一つとして、また社会貢献への知識を深めていただく。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>会を重ねる事に、地域の民生委員の方を含め理解が深まり、忌憚のないご意見・助言をいただいている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>運営推進会議には、市の担当者の方や町内会長、民生委員、ご近所の方にも参加いただき、事業所の様子を見ていただいたり、地域の独居高齢者の実状等、地域の情報を教えてもらっている。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>市町村担当者は、運営推進会議に出席して頂いている以外にも、相談・助言を常にいただき、協力関係が築かれている。今年度からグループホームでは初の試みである介護相談員受入れのモデル的事業所としてのお声をかけて頂き、9月に第1回の打合せを行うようになっていく。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>管理者は、運営推進会議の持ち方や議題について市の職員に相談されたり、又、11月から1ヶ月に2回、介護相談員の受け入れを予定されており、今後いろいろな相談員の方に来ていただいてアドバイスを頂きたいと話しておられた。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>会議や日常の場面において、どういった事が身体拘束であるかを話し合いながら、拘束なしのケアに取り組んでいる。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>管理者は「車椅子のベルトや座りっぱなし、寝かせっぱなしも身体拘束になる」等、日々の中でその都度職員に話しておられる。調査訪問時、玄関は、網戸で自由に出入りができるようになっていた。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		<p>虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者様の身体的・精神的変化を見逃す事の無いよう、小さな変化も原因究明し、阻止できるよう心がけている。</p>	
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>勉強会をなかなか開催できないているが、学ぶ機会があれば研修していけるようにしたい。</p>	
9		<p>契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>契約・解約又は改定が生じた際には、ご家族様にじかにお会い又は電話で説明し、十分に理解して頂き納得をして頂くようにしている。</p>	
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>面会に来られた時に、管理者や職員がよくお話を伺い、意見・要望を引き出せるよう、又は話し易い関係作りをご家族と築けるようにしている。要望にはいち早く対応するよう、心がけている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご本人の最近の様子ができるような写真を載せたお便りに、管理者がコメントを書いて毎月、ご家族に報告されている。ご家族の希望で利用者との外出時に車椅子の貸し出しをされたこともある。</p>	<p>管理者は「ご家族の訪問をお願いするだけでなく、事業所側からもご家族に会いに行くことも考えていきたい」と話しておられた。今後もさらにご家族とともに利用者を支えていけるような関係作りをすすめていかれてほしい。</p>

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 管理者は職員と定期的に個人面談する時間を設け、また職員同士で話し合った意見を出してもらうなどして、提案や意見を取り入れるよう努めている。	
			(外部評価) 職員からの提案で、以前うどん店をされていた利用者の方に手打ちうどんを教えていただきながら、みんなで作ってみた等、日々の中で代表者や管理者、職員は話し合い取り組んでおられる。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 評価すべき事は常に感謝の言葉に表し、休み希望等意に添える事はなるべく考慮したり、労働時間が無理のないように考慮している。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 勉強会の参加を呼びかけたり、資格取得等の相談実践に常に協力できるよう努めている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) デイサービスをしている為、他事業所との交流やネットワークははかれている。勉強会や行事のご案内をいただき、相互にサービスの質向上に努めていく取り組みをしている。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) センター方式ケアプランを使用し、特にその人の過去・生活歴等を探りながら、安心して暮らしていただけるように努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 本人だけでなく、ご家族が困っている事や不安に思っている事を受け止め、ご家族等の要望にできるだけ答えるようにしている。	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) ご本人の状態はもちろんだが、ご家族が大変な思いをされている事への協力も、大変大切なことだと受け止めているため、すべての状況を見極めてあらゆる方向から支援できるよう努めている。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 利用者様の趣味や特技を話していただき、教えていただいたりしている。	
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 何かイベントがある時には、ご家族にも連絡をし参加していただくようにする。また、病院受診等は、職員がご家族と付き添い、一緒にご本人を支え、不安を無くすよう努めている。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) ご本人の馴染みの場所や物を把握して可能な限り支援するようにしている。(行きつけのスーパーや美容院、お気に入りの場所等)	
			(外部評価) ご家族が来られてご本人の散髪をされる方もいる。現在閉店しているが、以前利用されていた美容院が懐かしく、行ってみたようなこともある。ご自宅の近くの馴染みのスーパーに買い物に行かれることもある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 孤立している利用者様がいれば、職員が話しかけ、他の利用者様を巻き込んで会話したり、トラブルがある場合には間に入って支えるようにしている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 入院中の利用者様にはお見舞いに行ったり手紙を差し上げたり、他施設に移った方にはご家族と連絡を取り様子を伺ったり面会に行ったりしている。ご家族と今も手紙のやり取りを続けている。	
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) センター方式のアセスメントを用いて、ご本人の思いや希望を組取るように努力している。困難な場合はご家族に聞き、本人本位になるように努めている。 (外部評価) 職員は、夜間眠れないと言われる利用者の方とゆっくりお話され、ご本人の思いをお聞きしたり、利用者の表情からも思いを汲み取ることを大切にされており、センター方式を用いて情報を集めておられる。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) ご本人・ご家族の情報をもとに、センター方式のアセスメントでこれまでの暮らしの把握ができるよう努めている。特に夜勤帯にゆっくりと長い時間関われる時にたくさんお話をし頂く。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 記録日誌に細かく記録し、変化があった場合にはチェックし、朝・夕の申し送り時に詳しく職員間で話し合うようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者様本人と面談、ご家族にも話を聞きながら現状に沿ったケアプランを職員全員で作成。月例会議で確認し、意見を出し合い反映させている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>毎月の月例会で全職員で日々の気付き等について話し合い、ご本人やご家族にもご意見をうかがい確認を取った上で介護計画を作成されている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>記録にはなるべくご本人様の言葉をそのまま記入し、朝・夕の申し送りで情報を共有しながらケアに反映させるようにしている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご本人・ご家族からの要望及び、必要と思われる時には、外出・外泊の支援をし、送迎や車イスの貸出しもやっている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>運営推進会議を通じて民生委員の方と連絡をとったり、婦人会の方から行事のお誘いを頂いたりしている。外出する事により、地域の方に入居者の顔を覚えていただけ、挨拶をしていただける為、笑顔が多くなった。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) 契約時に主治医の希望を伺い、希望に沿うようにして いる。長年みて頂いている病院とはご本人・ご家族の ご希望で縁が切れないよう同行受診して継続してい る。	
			(外部評価) 利用者の中には数十年来のかかりつけ医を受診されて いる方もあり、ご家族と職員が付き添っておられる。 協力医療機関の医師は、毎日、利用者一人ずつ往診に 来てくれており、いつでも連絡が取れるようになって いる。往診中、職員は、医師にご本人の様子を伝え、 ご本人のそばで、メモを取っておられた。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 毎日電話で看護師に伝え、相談する事ができ、午後か らはドクターが毎日往診に来てくれるため、適切な受 診や治療ができています。	
			(外部評価)	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 入退院時には職員が同行し、本人の現状説明を情報交 換・相談できている。主治医も加わり、早期退院や転 院等に向けての助言も得られている。	
			(外部評価)	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) ご本人とご家族・主治医を交えての話し合いの機会を 設けるよう努めている。ご本人・ご家族の希望に沿っ た対応を心掛け、医療機関と職員間で話し合い方針を 共有している。	管理者は、重度化した場合や終末期のあり方につい て、今後は、もっとご家族との話し合いの機会を作っ ていきたいと考えておられる。ご本人やご家族の不安 や心配なことを聞き取るような機会も作ってみてはど うだろうか。
			(外部評価) ご家族から「事業所は看護師がいないし、最期は、病 院ですか？」との質問があり「医療的なことがなけれ ば、ご家族の要望にお答えできる」ことをお話しされ た。入院された利用者が「ホームに帰りたい」との希 望が強く、ご家族や医療機関と相談の上退院され、状 態が回復したようなケースもある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)	
			マニュアルを作り、会議で確認している。他事業所や消防などでの勉強会や研修がある時は参加させてもらい、実践力を身につけている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)	
			運営推進会議において消防署員を招き、近所の方と一緒に避難訓練を行っている。避難方法や場所の確認が出来ると共にご近所から「すぐに駆けつけます」という力強いお言葉をいただいた。	
			(外部評価)	
			消防署の協力のもと避難訓練を実施された。近所の方にも協力いただき避難誘導をしてもらったり、実際に水消火器を使っての消火訓練もされている。緊急ベルを押し忘れる等があり、訓練を重ねることの大切さ感じておられた。又、職員や民生委員の方、市の救命講習を受講し、防災の知識や意識を高められた。	
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)	
			利用者様の状態や性格に合わせ、声かけをしている。	
			(外部評価)	
			職員は、利用者と目線を合わせて、笑顔でお話をされていた。利用者のペースに合わせることも大切にされている。事業所に通って来られている2人の利用者の方が他の利用者のお話相手をされている様子がうかがえた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)	
			利用者様の納得できる言葉を選び説明し、自己決定が出来るようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)	
			必ずその日に何がしたいか、出かけたか等の希望を利用者様にお伺いし、決め事やスケジュールを職員が作らず個別に支援している。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価)	
			ひとりひとり好みの色の服や柄などを職員がわかっており、更衣時には一緒に服を出しながら選んでいる。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価)	
			調理は出来る方に声かけをし、味付けを見てもらったりテーブル席で手伝いをしてもらったり、盛り付けをしてもらったりしている。片付けも出来る方が積極的に台所へ下げて洗ってくれている。	
			(外部評価)	
			事業所で食事作りをされており、時に利用者と献立を相談して、食材の買い物と一緒に出かけることもある。食後には、コーヒーやお茶を飲みながら、楽しくおしゃべりする時間も大切にされている。野菜を小さく刻んで食べやすくされていた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価)	
			ひとりひとりの状態や習慣に応じて、量を加減したり水分を多めにしたりお粥状やミキサー食・トロミ食に分けたり、日々変えて支援している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価)	
			食後には水分で口の中の汚れを洗い流してもらったり、入歯の方ははずして洗浄する等心がけている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	状態に応じてオムツを使用したり紙パンツあるいはパット対応に変えたりしている。	
			(外部評価)		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	植物繊維の多いものを多く摂るようにしたり、ヨーグルトを食べてもらったり、身体を使って運動のできる範囲で動くように心掛けている。	
			(外部評価)		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	利用者様の希望に沿うようにしているが、最低3日に1回は入ってもらえるよう支援している。(声かけや温度など)	
			(外部評価)		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	休息は自由に居室に行き、休まれている。布団をこまめに日に当てている。	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬は手渡し・見守りで確認しており、体調等の小さな変化でも職員間で報告している。薬状はいつでも目を通せるようにしている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 洗濯物を干したり畳んだり、調理時には職員と一緒に台所に立ち、盛り付けや皮むき、洗い物等してもらっている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 利用者様のペースに合わせた個別対応をしている。地域の行事等も個人的に出かけられるように支援している。	
			(外部評価) 近くのスーパーへ食材やお好きなおやつを買いに出かけられたり、調査訪問時、着替えをされた利用者の方に職員はさりげなく「散歩に行きますか？」と声かけて出かけていかれた。又、事業所からのお便りを利用者とともにご家族に届けに行かれ、ご家族に喜ばれたようなこともある。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 利用者様はお金の管理をしていないため、買物に行く時は職員と一緒にいき、雰囲気は楽しまれていると思う。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 本人が希望する時には自分で電話がかけられるように支援している。又、ご家族からお電話があった際には職員のみが対応するのではなく、ご本人と変わりお話できるよう支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
			利用者様が希望した場合は、なるべく希望に沿うようにし、スタッフの声かけや気付きをもとにして気持ちよく過ごせるよう努めている。	
			(外部評価)	
			テーブルに季節のお花を生けておられた。利用者は、それぞれにソファや椅子等、好きな場所でくつろいでおられた。事業所に通いで来られる利用者の方が玄関やお部屋の掃除をしてくださることもある。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価)	
			談話室に3ヶ所の居場所があり、大きなテーブルで居たい方、ソファに座ったりテレビの近くに居たい方等、思い思いの席で過ごされている。	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
			本人が気に入っている物や、長年使い慣れている物等は、危険だと判断されない限り、活かせるように工夫している。	
			(外部評価)	
			居室には、馴染みの家具やぬいぐるみ、ご家族の写真等が持ち込まれている。新聞を取っておられる方もあり、ご自分の部屋で新聞や小説を読まれている方もある。職員はご本人やご家族と相談して家具の配置替えや季節ごと、日当たりによってベッドの位置を変えたりされている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)	
			利用者様が自己申告したり、職員が願う場合もあるが、出来る事はスタッフと一緒にするようし、自立した生活が送れるよう努力している。	